

社会福祉法人松戸市社会福祉協議会
令和6年度第1回松戸市居場所づくり全体会議要旨

1 日 時 令和6年4月12日(金) 午後1時30分～2時40分

2 会 場 松戸市社会福祉協議会 第1・2ボランティア室

3 議 事

1. 開 会

2. 松戸市居場所づくり全体会議副会長挨拶

3. 報 告

各地区の進捗状況報告について

4. 議 題

令和5年度「まつどDEつながるステーション」の活動費の精算について

(小金地区、東部地区、六実六高台地区、馬橋地区、明第2西地区、明第一地区、
小金原地区、馬橋西地区、矢切地区、常盤平地区、新松戸地区)

5. その他

4 出 席 者

(1) 出席委員(8名)

副会長	恩田 忠治	松戸市町会・自治会連合会	会長
委員	平川 茂光	松戸市民生児童委員協議会	会長
委員	梶原 栄治	松戸市民生児童委員協議会	副会長
委員	山崎 恵	特定非営利活動法人まつどNPO協議会	理事
委員	松村 大地	特定非営利活動法人まつどNPO協議会	理事
委員	伊東 朱美	松戸市総合政策部	部長
委員	上野 真一	松戸市市民部	部長
委員	松本 篤人	松戸市福祉長寿部	部長

(2) 出席機関(6名)

松戸市総合政策部地域共生課

(3) 事務局(7名)

松戸市社会福祉協議会

5 議事内容

■各地区の進捗状況報告について

松戸市地域共生課より説明。

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問 1】

地域の既存の事業や様々な居場所があるが、そちらへの影響あるいは連携などあるのか。

【回答 1】

町会がやっている既存の活動と共催することもある。町会未加入で町会の活動にも参加していない人がステーションに参加する等の効果もある。また、町会活動と一緒に開催することで認知度も上がり、よい結果が得られているのではないかと感じている。

【質問 2】

動いていない地区を今後どうするか。地域の課題や地区がやりたくてできないことをステーションでやったり、地域の課題を把握している地域包括支援センターの多機能コーディネーターの配置も始まっているので、そういった既存の資源や事業と連携して進めていけると事業の良さや可能性が広がっていくのではないかと。特に本庁地区では既存の事業との重なりがあり、現時点での当地区の懸念などを聞きたい。

【回答 2】

本庁地区はいろいろな活動を既にしており、メンバーも重なる部分が多い現状がある。

多機能コーディネーターやスクールソーシャルワーカーも含めた様々なつながりによる住民支援の場になればと思っている。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

【感想・ご意見 1】

孤独・孤立対策推進法が施行され認知されていく中、孤独になりがちな方を支援につなげるよう取り組んでいるステーション運営は予防の観点から重要であり、孤独・孤立につながりそうな人を減らしていくようになっていけばよい。

【感想・ご意見 2】

ステーション活動に大勢の方が参加する中、高校生がボランティアとして参加し、学生の参加者数が増えているような報告があった。今後はステーションの進捗状況報告にどこの学校の学生がボランティアに参加しているか記載したらもっと分かりやすくなるのではないかと。

町会・自治会の活動とは違った雰囲気があるとの話だったので、活動の特徴の一つになっていくのではないかとと思う。

【感想・ご意見 3】

町会等の事業活動が再開している中、担い手の中で同じ人が関わっているケースも多く、多忙になると思うので連携を取りながらお願いしたい。

■令和5年度「まつど DE つながるステーション」の活動費の精算について

(小金地区、東部地区、六実六高台地区、馬橋地区、明第2西地区、明第一地区、小金原地区、馬橋西地区、矢切地区、常盤平地区、新松戸地区)

11地区の申請内容について松戸市地域共生課より一括して説明。異議なしとして承認された。

(1)小金地区

実績報告額 478,377円 交付額 480,000円 返納額 1,623円

小金地区ステーション開催概要

ステーション名	小金わくわく農園
目的	農福連携をテーマに、農作業を通じて子どもから高齢者等の多世代交流の機会創出を目的とする。
開催日	令和5年4月23日(日)、5月21日(日)、7月15日(土)、7月30日(日)、9月2日(土)、10月14日(土)、11月3日(金)、12月9日(土)、令和6年3月10日(日)
開催場所	本土寺参道裏農園、赤門家、小金北市民センター、殿平賀小学校
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業を通じての多世代交流(農作物の手入れ、収穫等の農作業) ・収穫イベント ・農作物をテーマとした講演会等の学びの場 ・タウンミーティング ・小金地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・小金地区内子どもとその保護者 ・小金地区内の高齢者や障害者福祉施設利用者等
参加者人数	参加延人数 575人 平均参加者数 63.8人
運営者人数	毎回概ね10人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
実績報告額	478,377円

(2)東部地区

実績報告額 293,362円 交付額 480,000円 返納額 186,638円

東部地区ステーション開催概要

ステーション名	東部地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
開催日	令和5年5月13日(土)、6月4日(日)、9月9日(土)、12月9日(土)、令和6年1月13日(土)、3月9日(土)

開催場所	紙敷あんど、高塚新田集会所、松戸市大橋 1102、和名ヶ谷集会所、秋山集会所、東松戸ゆいの花公園
開催内容	・飲食物の提供や工作体験等を通じた多世代間交流 ・東部地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	・子どもとその保護者 ・高齢者、高校生等のわかもの 等
参加者人数	参加延人数 872 人 平均参加者数 145 人
運営者人数	毎回概ね 20 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	293,362 円

(3)六実六高台地区

実績報告額 315,488 円 交付額 480,000 円 返納額 164,512 円

六実六高台地区ステーション開催概要

ステーション名	つどうde6∞6(ツドウデロクロク)
目的	既存の居場所等に来る機会がなかった方々の参加を目指し、多世代間および運営者間の交流促進、つながりづくりを目的とする。
開催日	信隆寺:令和5年5月8日(月)、6月12日(月)、7月10日(月)、8月14日(月)、9月11日(月)、10月9日(月)、11月13日(月)、12月11日(月)、令和6年1月8日(月)、2月12日(月)、3月11日(月) みんなの居場所あびす:令和5年5月18日(木)、6月15日(木)、7月20日(木)、8月17日(木)、9月21日(木)、10月19日(木)、11月16日(木)、12月21日(木)、令和6年1月18日(木)、2月15日(木)、3月21日(木) 六実市民センター:令和5年8月18日(金)、令和6年2月3日(土) 高麗神社:10月15日(日)
開催場所	【固定型】信隆寺、みんなの居場所あびす 【巡回型】六実市民センター、高麗神社
開催内容	・時間と場所を固定した固定型開催で、自由に過ごせる居場所の提供 ・巡回型開催で固定型および区内既存活動等を周知 ・六実六高台地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	六実六高台地区の方々および居場所運営などに関わるの方々 等
参加者人数	・参加延人数 937 人 固定型 78 人 巡回型 859 人

	・平均参加者数 固定型 4 人 巡回型 286 人
運営者人数	固定型：毎回概ね 1 人程度 巡回型：毎回概ね 50 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	315,488 円

(4)馬橋地区

実績報告額 480,247 円 交付額 480,000 円 返納額 0 円

馬橋地区ステーション開催概要

ステーション名	まばし DE エンジョイ！
目的	地域で子どもたちが交流したり、子ども同士で外遊びをする機会が減少している現代社会において、地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを進めていく。
開催日	令和 5 年 4 月 16 日（日）、5 月 13 日（土）、6 月 18 日（日）、7 月 9 日（日）、9 月 30 日（土）、11 月 25 日（土）、令和 6 年 2 月 25 日（日）
開催場所	馬橋東市民センター、八ヶ崎市民センター、県立松戸高等学校、町会会館、市立八ヶ崎小学校体育館、市立第三中学校体育館 等
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昔遊び等を通じた多世代交流 ・馬橋地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとその保護者 ・地域の高齢者、中高生 等
参加者人数	参加延人数 571 人 平均参加者数 82 人
運営者人数	毎回概ね 20 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	480,247 円

(5)明第 2 地区

実績報告額 400,752 円 交付額 400,000 円 返納額 0 円

明第 2 西地区ステーション開催概要

ステーション名	にじいろステーション
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
開催日	令和 5 年 6 月 25 日（日）、7 月 23 日（日）、8 月 20 日（日）、9 月 17 日（日）、10 月 15 日（日）、11 月 19 日（日）、12 月 17 日（日）、令和 6 年 1 月 21 日（日）、2 月 18 日（日）、3 月 17 日（日）
開催場所	古ヶ崎市民センター 等

開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の既存活動を周知、体験 ・体験を通じての多世代間交流 ・明第2西地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとその保護者 ・高齢者、高校生等のわかもの 等
参加者人数	参加延人数 776 人 平均参加者数 78 人
運営者人数	毎回概ね 20 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	400,752 円

(6)明第一地区

実績報告額 320,842 円 交付額 320,000 円 返納額 0 円

明第一地区ステーション開催概要

ステーション名	はばたけ明第一 ～世代をこえて～
目的	地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを進めていく。
開催日	令和5年8月6日(日)、9月30日(土)、令和6年1月27日(土)、3月16日(土)
開催場所	根本倶楽部、岩瀬自治会集会所、稔台市民センター、明市民センター
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の各ブロックを巡回し、子ども、保護者、高齢者向けの遊びや出し物を通じた多世代交流 ・明第一地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	明第一地区在住者および在勤・在学者
参加者人数	参加延人数 219 人 平均参加者数 55 人
運営者人数	毎回概ね 20 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	320,842 円

(7)小金原地区

実績報告額 291,412 円 交付額 320,000 円 返納額 28,588 円

小金原地区ステーション開催概要

ステーション名	小金原地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて地域への愛着を持ってもらう。

開催日	令和5年8月25日(金)、9月23日(土)、10月28日(土)、11月25日(土)、12月23日(土)、令和6年1月27日(土)、2月24日(土)、3月23日(土)
開催場所	小金原7丁目西町会会館、タウンスクール根木内
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・世代を問わずに集える場を通じて多世代間交流を図る ・小金原地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	小金原地区在住者および在勤・在学者
参加者人数	参加延人数 304人 平均参加者数 38人
運営者人数	毎回概ね5人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
実績報告額	291,412円

(8)馬橋西地区

実績報告額 280,028円 交付額 280,000円 返納額 0円

馬橋西地区ステーション開催概要

ステーション名	みんなでワイワイ
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
開催日	令和5年9月24日(日)、11月18日(土)、令和6年2月18日(日)
開催場所	馬橋小学校、馬橋市民センター
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルスポーツの体験やサロン等での多世代間交流 ・ステーション活動の周知 ・馬橋西地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	馬橋西地区在住者および在勤・在学者
参加者人数	参加延人数 454人 平均参加者数 151.3人
運営者人数	毎回概ね15人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
実績報告額	280,028円

(9)矢切地区

実績報告額 142,651円 交付額 200,000円 返納額 57,349円

矢切地区ステーション開催概要

ステーション名	矢切地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。

開催日	令和5年11月12日(日)、12月10日(日)、令和6年3月28日(木)
開催場所	総合福祉会館、まつど市民活動サポートセンター
開催内容	・ワークショップや茶話会等を通じての多世代間交流 ・矢切地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	矢切地区在住者および在勤・在学者
参加者人数	参加延人数 574 人 平均参加者数 191 人
運営者人数	毎回概ね 10 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
実績報告額	142,651 円

(10)常盤平地区

実績報告額 119,794 円 交付額 120,000 円 返納額 0 円

常盤平地区ステーション開催概要

ステーション名	まつどDEつながるステーション in ときわ平
目的	地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを進めていく。
開催日	令和6年1月8日(月)、3月2日(土)
開催場所	牧の原団地二街区中央広場、松戸聖パウロ教会
開催内容	・地区内の既存活動を周知・体験 ・喫茶コーナー ・健康、相談コーナー ・常盤平地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	常盤平地区在住者および在勤・在学者
参加者人数	参加延人数 254 人 平均参加者数 127 人
運営者人数	毎回概ね 20 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
実績報告額	119,794 円

(11)新松戸地区

実績報告額 119,317 円 交付額 120,000 円 返納額 0 円

新松戸地区ステーション開催概要

ステーション名	新松戸地区「まつど DE つながるステーション」
目的	・ステーション活動を通じて多世代交流の機会を生み出すことにより、

	<p>地区内で顔見知りを増やすきっかけとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新松戸地区の特色を活かしたプログラムを実践することにより、地区へのシビックプライド等を醸成するきっかけとする。
開催日	令和6年1月20日(土)、2月23日(金)
開催場所	新松戸市民センター
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・古本等による市(いち) ・さまざまな遊びを通じた多世代間交流 ・カフェスペース ・新松戸地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	新松戸地区在住者および在勤・在学者
参加者人数	参加延人数 410 人 平均参加者数 205 人
運営者人数	毎回概ね 10 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
実績報告額	119,317 円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問 1】

この周知方法はよいと思う地区はあるか。ステーションは多世代の交流の場であり、年齢の傾向が地区ごとにあると思うが、全体的にどのような傾向があるか聞きたい。

【回答 1】

周知方法は各地区に任せており、掲示板のみの地区もあれば回覧板で回したり、学校の体育館で開催するときには学校に配布したりしている。

年齢の傾向としては乳幼児から小学校低学年の児童とその保護者、高齢者が主に参加している。中学生、高校生、大学生は学業が忙しいこともあり参加は少ないが、高校生など若い世代にボランティアとして参加してもらうことで幅広い年齢の方が交流している。

【質問 2】

助成金交付金額と実績報告額の差額によって返納が生じるが、その基準が知りたい。

【回答 2】

助成金額の返納に関しては「まつど DE つながるステーション」活動助成金交付要綱第 9 条により、助成金交付金額と実績報告額の差額が千円未満の場合、これを千円に切り上げた額とするとなっており、千円未満は返納なしとなる。

【質問 3】

民生委員・児童委員が地域福祉に協力してきているが、重荷になってきており、なり手が無いと言われている。地区で強制的に入らなければいけない、手伝わなければいけないといったことが起きているように感じ、懸念している。民生委員・児童委員がどの程度協力しているか聞きたい。

ステーション活動について、当初は同じ目的を持って活動するとなっていた。統一的なものでなくてよいのか。地区社会福祉協議会でやっていることとあまり変わらないのではないか。

【回答 3】

各地区の民生委員・児童委員の方には多大なるご協力をいただいている。地域の住民の方々の不安などに寄り添っているのが民生委員・児童委員の方だと認識しており、地域の気になる方をステーションへ誘ってもらい、つなげてもらえるよう引き続き協力をお願いしたい。

多世代が交流し、関わることで地域の中での孤立を予防していくことは全地区共通の目標・目的である。今はつながるステーションを知ってもらうためにイベント的な開催となっている。地区によっては集会所を使用し、好きに集まって自由に過ごし寛いでもらおうといったこともしており、実行委員会が工夫しながらやっている状況である。

町会・自治会、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会、地区で活動している活動団体と連携しやっていくことは大きいと考えている。

【質問 4】

小金原地区の活動が気になるので、常連の人か新しい人が来るのか聞きたい。

【回答 4】

小金原地区は毎月第 4 土曜日に同じ場所で開催しており公園に近く、遊びに来ていた親子やグラウンドゴルフの帰りの方が寄っている。常連の方と新規の方両方がおり、比率は日によって異なる。

【質問 5】

事業報告を見ると保険料が予算に計上されているが実際は支出 0 円の地区があったが、なぜか。

【回答 5】

開催の都度、会場や参加者数、内容により実行委員会で考慮し、保険への加入を判断しているようである。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

事業報告について、実施報告書だけでは見えない部分があると思った。

情報コーナーがあるがチラシだけでは自分に有効であるかわかりづらいので、それを案内する仕組みがあるといいと思う。

現在松戸市の人口は約 50 万人であり、2 万 1 千人の外国人が住んでいるが、外国の方と地域のつながりなどの例があれば報告書に記載するなど、丁寧に拾っていくことも必要か

もしれない。

6 その他

今後の予定

令和6年度第2回松戸市居場所づくり全体会議の開催

日時:令和6年7月12日(金)午後1時30分～